

講演する和田学長「センター」を視察した。

講演後には、同大の強み・特色ある研究施設である「ワイン科学研究セ

佐賀大が女子中高生対象に「リケフェス」

佐賀大学は、科学技術振興機構（JST）令和6年度「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」事業で採択された「継続・育成型 STEAMガールズ コンソーシアム」による『女子中高生のための今知りたい！理系進学で広がる未来リケフェス2024』をこのほど同大で開催した。今年度はこれまでの4機関（佐賀大・西九州大・長崎国際大・佐世保高専）に新たに久留米工業大が加わり、5機関合同で実施した。

リケフェスは、シンポジウム（基調講演・トークセッション）、学校別相談会、実験体験会を通して、将来の進路選択について考え、理系分野への親しみをもってもらうことを目的としている。今回、保護者を対象とした新たな企画として、本音で語り合う「進路いろいろカフエタイム」も実施した。

中学生60名、高校生38名、保護者・教育関係者等45名、関係者スタッフ58名の計201名が参加した。

『理系・文系 あなたは何系？』考えること、疑うこと、楽しむこと』と題して、神戸佳子氏（東海大児童教育学部特任教授）が

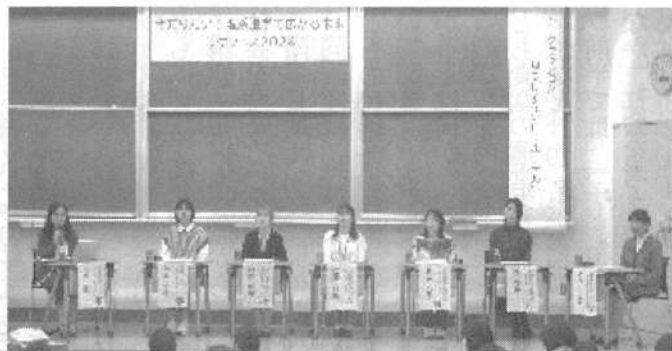
基調講演を行う神戸氏基調講演。数字は「疑うこと」が大切であるとともに、「中高生の皆さんが進路を考える時、いろいろな理由があるだろうけれど『楽しむこと』を忘れないでほしい」とのメッセージがこめられた。

トークセッション『見つけて私のロールモデル！』では、荒木 薫ダイバーシティ推進室副室長がファシリテーターとなり、各大学・高専の女子学生5名、神戸氏とともに意見交換を行った。さらに、実験体験会では、

各大学から興味深い六つのブースが開設され、また「進路いろいろカフエタイム」では保護者ら20名が参加した。

参加者からは、「自分と似た境遇だった方の話が聞けたので『好きなこと・夢』に重きを置いて将来を考えようと思った」「実験体験会で今まであまり興味を持っていなかった分野にも興味を持てた」「理系の中でも工業系など幅広い学科があることを知って参考になった」といった感想が寄せられるなど、

トークセッション
大いに盛り上がったリケフェスとなった。



実験体験会